

◆台風・豪雨災害時に備えて洪水・土砂災害ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認!

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと取るべき行動を確認しよう。



大雨の時の避難行動判定フロー

あなたが取るべき行動は?

洪水・土砂災害ハザードマップで自分の家があるところを確認し、印をつけてみましょう。

はい

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

はい

大雨等の際は、災害の危険があるので原則として※1、自宅の外に避難が必要です。

例外

ご自身又は一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親せきや知人はいますか?

はい

いいえ

加賀市から**高齢者等**避難が発令されたら**安全な親せきや知人宅**に避難

加賀市から**高齢者等**避難が発令されたら**市が開設した指定避難所**※2に避難

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親せきや知人はいますか?

はい

いいえ

加賀市から**避難指示**が発令されたら**安全な親せきや知人宅**に避難

加賀市から**避難指示**が発令されたら**市が開設した指定避難所**※2に避難

必ず取り組みましょう!

洪水・土砂災害ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、加賀市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

- ※1 浸水の危険があっても、
 - ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
 - ②浸水する深さよりも高いところにいる
 - ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保をすることも可能**です。
- ※1 土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保をすることも可能**です。

※2 市が開設した指定避難所以外にも、町内会等で独自に協定を結んだホテルや福祉施設等があればそちらへの避難も検討してください。